

# 人まち開発委員会

担当副理事長 北川 将成  
委員長 大村 猛  
副委員長 久田 侑司

## 《基本方針》

青年会議所活動は40歳という年齢で卒業を迎えなければなりません。それは新たなメンバーが入会し、絶えず新風を起こす可能性を秘めたメンバーが循環しているとも考えられます。そして、これまでMAK地域を発展させ支えてきた先輩諸氏の思いや伝統を伝え、MAK・JCのメンバーとともに希望溢れる地域へ更なる発展を遂げる必要があります。

まずはこの1年間、入会歴の浅い会員にはMAK・JCに脈々と受け継がれてきた規律を守るために、我々の委員会で行われる運動へ参加してもらい、青年会議所への理解を深めてもらいます。そして、市民サポーターとの連携を深め、自らの利益と地域のために尽くす人財を育成してまいります。さらに、自己が成長し家庭や職場だけでなく、地域のために還元し認識することによりMAK・JCの運動が自身に対し本当に価値があるものであったという感覚を持ってもらいます。また、青少年に豊かな郷土愛を育んでもらうために、社会や職場への交流または新たな発見を提供し、自分たちの地域が将来希望に満ち溢れ魅力のある場所だと感じてもらいます。

MAK地域には、豊かな自然と新鮮な食彩、史跡など誇れるものが多くあり、その恵まれた環境の中で我々はMAK・JCとして、変化する時代の中でも郷土愛や関心をもてる場を提供し続けることで、手を取り合いながら未来永劫続くまちづくりができると確信します。

## 《運営方針》

1. メンバーの成長に繋がる例会アワーの実施①
2. メンバーの成長に繋がる例会アワーの実施②
3. 市民サポーターと信頼を深める事業説明会
4. 身近な人々に豊かな心と郷土愛を育んでもらう育成事業の実施
5. 市民サポーターと信頼を深める事業の実施

## 《事業計画》

1. 理事会、ロバート議事法の講習（3月例会アワー）
2. JC活動におけるマナー講習、日本JCの全容講習（5月例会アワー）
3. 市民サポーターへの事業説明会（6月実施予定）
4. あわら温泉水による子供用簡易プールと職業PR（8月例会アワー）
5. 市民サポーターとの親睦会（11月例会アワー）

## 《事業予算》

- |              |          |
|--------------|----------|
| 1. 3月度例会アワー  | 3,000円   |
| 2. 5月度例会アワー  | 3,000円   |
| 3. 6月度例会アワー  | 3,000円   |
| 4. 8月度例会アワー  | 697,000円 |
| 5. 11月度例会アワー | 100,000円 |

---

合 計

806,000円